

麻疹ウイルス情報の病原体検出情報への入力について

平成31年4月23日

- I. 要約 麻疹ウイルスの情報を病原体検出情報に入力する際には、入力必須項目以外に、1) 発生動向報告 ID、2) 発疹出現日 (情報がある場合)、3) 検体受け取りまでの日数、4) 遺伝子解析終了までの期間、5) 麻疹ウイルス遺伝子型決定部位の塩基配列を入力する

- II. 背景 麻疹は WHO が排除を目指している感染症です。WHO から排除(または排除維持)状態にあると認定されるには、優れたサーベイランス体制が存在することを示した上で、ウイルス遺伝子情報等に基づいて、国内において、一年間以上、伝播を継続した麻疹ウイルスが存在しないことを示す必要があります。通常の病原体検出情報に求められている情報以外に、患者情報 (感染症発生動向調査の情報)、塩基配列情報、検体が採取されてから検査機関に届くまでの時間、塩基配列の解析に要した時間等もサーベイランスの質を示すための情報として求められています。麻疹ウイルスに関する情報を病原体検出情報へ入力する際に、必須入力項目以外に求められている項目の入力について述べます。

- III. 本手引きの対象者
地方衛生研究所、保健所等の NESID の病原体検出情報の検査および入力担当者

- IV. 麻疹において特に必要な情報、並びに記載場所 (図 1, 2 参照)
 1. 患者情報：検体提供者欄の発生動向報告 ID を入力
入力後、「患者情報の取り込み」ボタンを押すと、その時点で感染症発生動向調査に入力されている以下の項目〔報告種別 (1～5 類全数)、検体提供者欄の性別、年齢・月齢、診断名 (疾病)、発病年月日、保健所〕が病原体検出情報に反映されます。

 2. 患者情報：発疹出現日 (情報がある場合) を備考欄に入力
典型的な麻疹では発熱 (発病日) の 3～4 日後に発疹が出現します。発疹出現日がわかる場合には、備考欄に発疹出現日を入力してください (WHO が推奨する株名の命名法では、原則、発疹出現週を表示します¹⁾) 入力例： 発疹出現日 2019 年 4 月 23 日

 3. 地衛研における検体受け取り日：検体採取日から 4 日以内かを備考欄に入力
入力例： 検体受け取り 4 日以内、(4 日を超えた場合) 検体採取○日後に受け取り

 4. 塩基配列の解析終了日：検体受領後 2 か月以内に終了したかを備考欄に入力
入力例： 遺伝子解析 2 か月以内、(それ以上の場合) 遺伝子解析終了まで○か月

 5. 塩基配列 (麻疹ウイルス遺伝子型決定部位、N 遺伝子 450 塩基) を塩基配列欄に入力 (ペースト)
入力された遺伝子情報は、感染研により WHO が管理する麻疹ウイルス専用のデータベース (Measles Nucleotide Surveillance: MeaNS) に登録され、WHO や各国の国家麻疹検査施設等と共有されます。集積された情報は麻疹ウイルスの由来の特定や伝播ルートの確認などに用いられます。

V. 文献

1) 病原体検出マニュアル 麻疹(3.4版) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/labo-manual.html#class5>

図1. 発生動向報告 ID の入力および患者情報の取り込み

1) 「発生動向報告 ID」を入力後、2) 「患者情報取り込みボタン」を押すと、感染症発生動向調査に記載されている「患者情報」が病原体検出情報に自動的に取り込まれる。

図2. 備考欄および塩基配列欄への入力例： 備考のショートカットキーを押す。備考欄に発疹出現日（わかる場合）、検体受け取り日（検体採取日から4日以内かどうか）、および遺伝子解析終了までの期間（2か月間以内かどうか）、塩基配列欄にN 遺伝子の塩基配列を入力